

【先週の説教要旨】

「主はわたしたちの声を聞き」

申命記 26:5-1

マタイ 5:21-26

「私の先祖はさすらいのアラム人でしたが、少数の者と共にエジプトに下り、そこに寄留しました。そしてそこで強くて数の多い、大いなる国民になりました。そんな私たちをエジプト人たちは過酷に扱い、苦しめ、つらい労役を課しました。私たちが、私たちの先祖の神、主に呼び求めますと、主は、私たちの声を聞き、私たちが受けた苦しみと労苦と虐げを見て、力強い手と伸ばした腕、大いなる恐るべき業とするしと奇跡とをもって、私たちをエジプトから導き出してくださいました。そして、この場所に導き入れ、乳と蜜の流れるこの地を与えてくださいました」(申命記 26:5-9,協会訳)。

申命記が最終的にまとめられたのはバビロン捕囚から解放されて、エルサレムに帰還してからだろうといわれています。申命記の中にはエルサレムが滅びる前、ヨシヤ王の時代のもものあります。その間、イスラエルの歴史は激しく動きました。何よりも国が無くなりました。しかし、彼らはいつの時代でも、どこでも、どのような状況の中にあっても、自分たちのルーツを確認し合い、一つの共同体としてまとまりを保ちつづけました。自分たちが誰で、何者であるかを明確にしました。それが長く引用した「信仰の告白文」です。

彼らは、いつでも、どこでも、どのような状況の中でも『先祖の神、主に呼び求め』ました。「先祖の神」は「家の神」とは違います。たとえ部族の長であっても、信仰は一人ひとり人間と神との関係です。「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」と。族長たちはそれぞれ、どこにあっても「主=神に呼び求め」ました。それゆえ、彼らは主=神と共にありました。彼らは主=神が、彼の声を聞いてくださることを知っていました。

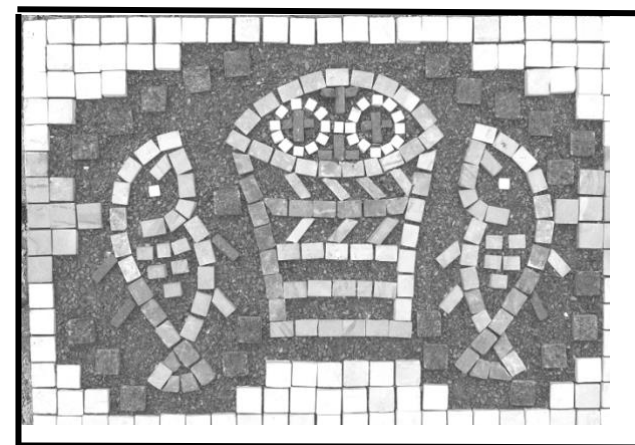
漢字の「聞」には深い意味があります。元の形は、つま先で立つ人を横から見た形の上に大きな耳の形を書いて、聞くという耳の動きを強調したものだそうです。古代人は耳にはかすかな音で示される神の声を聞く働きがあると考え、その神の声、神のお告げ(啓示)を聞くことが出来る人が「聖」で、聖職者でした。門は両開きの扉で、門を押して中に入ることから、かどぐち、入り口となり、その奥にある家、そこに住む人を意味することから「すべての人が聞く」意味になったということです(白川静「常用辞典」)。

この告白で聞くことは、声を聞いて、苦勞を見て、強い手を伸ばして、恐るべき業をする、一連の行動です。主は聞いてくださる=私たちの声を聞いて、歴史の中を導いてくださいました。だから主=神へ献げ物をするとは、彼らの喜びでした。ここに信仰が脈打っています。

日本キリスト教団浦河教会

週報

No.14 2021年7月4日



教会創立 1956年

〒057-0022

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

電話 (FAX) 0146-22-2904

牧師 五味 一

電話 (FAX) 0146-26-3043

2021年7月4日 (No14)

主日礼拝

司会: 荻野 仁 奏楽: 松村宣恵

前奏 85 (二回)
 讃美歌 祈り 聖書
 歴代誌下6章18~21節 (旧約聖書677頁)
 マタイ福音書7章7~12節 (新約聖書11頁)
 司会者 讃美歌 208
 説教 「神は果たして地上にお住まいになるのでしょうか」
 五味 一 牧師
 讃美歌 501
 献金と感謝の祈り
 主の祈り 62
 頌栄 キリストの平和が (1・5)
 祝福
 報告

新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【本日の集会】

◇主日礼拝 午後2時 場所 カフェぶらぶら
 ◇お茶の会 コロナウイルス感染防止のため休会

【今週の集会】

◇一緒に聖書を読み祈る会 カフェ・ぶらぶら
 ・7月7日(水) 午後7時
 ゼカリヤ書12章1~8節 (旧約聖書1492頁)
 讃美歌 361、530

【次週の予定】

◇主日礼拝
 ・7月11日(日) 午後2時 カフェ・ぶらぶら
 ・聖書 エレミヤ書7章1~7節 (旧約聖書1188頁)
 マタイ福音書7章21~25節 (新約聖書12頁)
 ・説教 「主の神殿と主の言葉」
 五味 一 牧師
 ・讃美歌 206、451

【来週の礼拝司会者を決めましょう】

- ① 和田智子 ② 広瀬秀幸 ③ 佐々木実 ④ 吉田公子
- ⑤ 伊藤知之 ⑥ 山根耕平 ⑦ 岸澤恵美 ⑧ 高崎晋
- ⑨ 山本潔 ⑩ 早坂潔 ⑪ 荻野仁

【集会統計】

集会名	参加者	献金
主日礼拝 (6月27日)	26名 (子2名)	13,550円
祈禱会 (6月30日)	10名	

◇第2回役員会から 6/27 カフェぶらぶら

1. 21年度定期教会総会議事録を承認した。
2. 会堂玄関と道路までの追加工事(200万円)を発注した。
3. 納骨棚数を決め、7月中に納骨希望者を募ること。納骨事務担当に和田智子を決めた。
4. 旧会堂(通称「べてるの家」)売却価格を1万円とし、福祉法人浦河べてるの家に売却することを決めた。
5. 会堂に設置する「鐘」(オランダ製諸経費、送料含め595,750円)の発注を決めた。
6. 会堂奉献式を10月17日(日)午後に行う。
7. 次回役員会9月5日(日)

♪ 本日の讃美歌 ♪

♪ 讃美歌208 「主なる神よ、夜は去りぬ」。もとはラテン語による壮大な朝の讃美歌です。堂々と力強く、遅くならないように歌ってくださいと指示されています。作詞者は不詳。

♯501 「主よ、わたしたちは祈ります」。日本人による新しい讃美歌です。作詞は中学校の英語教師を退職後、両親の介護をしていた深沢明子(1931-)。作曲は高校2年時に日本キリスト教団県町教会で受洗した高波晋一(1941-)。世田谷千歳教会のオルガニスト。

◇べてる関係報告

7月10日(土) べてる開所
佐々木実さんを囲む会

頌栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが わたしたちのころのすみずみにまで ゆきわたりますように
5. キリストのゆるしが わたしたちのころのすみずみにまで ゆきわたりますように